

# 日本経済新聞

2019年1月8日 (火)

検索欄、記事、株価

トップ 経済・政治 ビジネス マーケット テクノロジー 国際・アジア スポーツ 社会 地域 オピニオン 文化 マネー ライフ

ストーリー 速報 朝刊・夕刊 日経会社情報 人事ウォッチ Myニュース

## 〈世界の選挙2019(上)〉アジア、危うい大衆迎合策 民主主義劣化、問われる質

2019/1/8付 [有料会員限定]

保存 共有 印刷 共有 ツイート その他

2019年は各国・地域で重要選挙が相次ぐ。選挙結果は国や地域の針路を決め、地域や世界の情勢にも大きな影響を与えかねない。注目選挙の焦点を追った。

インドネシアでは4月17日、5年に1度の大統領選挙が投開票される。現職のジョコ大統領と、国軍出身で野党グリンドラ党のプラボウォ党首が大統領の座を争う。1998年の民主化後、大統領を直接選挙で選ぶのは4回目、平和的な政権交代が定着してきた。



インドネシアでは現職のジョコ氏(右)と野党党首のプラボウォ氏が大統領の座を争う

両氏が争った14年の前回選挙ではメディアなどを通じた中傷合戦も目立ったが、今回はこれまでのところ目立った混乱はない。経済対策が選挙の争点だが、政策に大きな違いもない。

ただ、両陣営とも国民に聞こえのよい人気取り政策を出す傾向が強まっている。ジョコ氏は18年12月、大統領選の直前の4月に公務員給与を5%上げると発表した。「票稼ぎの政策」と批判した野党も政権公約で所得税減税を打ち出す、慢性的な税収不足の中で実現は疑問視されている。

インドのモディ首相も4~5月に実施する総選挙を控え、大衆迎合策を総動員する。18年9月には財源の確保が不十分なまま低所得層5億人を対象に国民保険制度を導入した。10日には17年に導入した物品サービス税(GST)の税率引き下げも協議する。

モディ氏が率いる与党インド人民党(BJP)は18年12月に一斉開票した5州の地方選で全敗した。農民や中小事業者の票が野党に流れたことが一因だったとされる。14年5月のモディ政権発足以降に実施した地方選では最悪の結果で、次の総選挙後に第2次モディ政権発足が確実視されていた従来のシナリオに黄信号がともる。

14年から軍事政権が続いたタイでは、民政復帰のための総選挙が実施される。18年12月には4年半ぶりに政治活動が解禁された。東北部などの農村に強固な地盤を持つタクシン元首相派の前与党、タイ貢献党に親軍政勢力や古くからの貢献党のライバル、民主党が挑む構図だ。

焦点はタクシン派の牙城を親軍政勢力などが切り崩せるかどうかで、農民票の行方が勝敗を決するカギとなる。各政党は所得支援策や農産物価格の引き上げ策などで人気取りに血道を上げる公算が大きく、次期政権の財政規律が揺らぐ懸念もある。軍政は選挙に先立ち、低所得者や高齢者向けの生活支援策として財政の大盤振る舞いをした。

アジア各国で大衆迎合や自国優先主義が広がれば、投資の呼び込みや国際協調にも暗い影を落とす。インドネシアのジョコ政権もインフラ開発の予算を抑える代わりに、公務員給与を大幅にアップするといった事実上の積極財政に転じた。

アクセスランキング 一覧
1. 米中貿易、追加関税で急減速
2. キム世銀総裁が辞任 2期 目途中、米政権と確執か
3. 貿易戦争「さらに悪影響」 日中韓経営者の7割超

PICTET 先行きが不透明な今、注目したい資産運用がここに。
ピクテ新春グロイン・セミナー 全都道府県47会場開催 受講無料 申込受付中

日経からのお知らせ
「新・北斎展」17日から東京・六本木で
会員向け新着情報【日経コンシェルジュ】
【初割】セットでお得な商品が2月未まで無料!

おすすめ情報
米テック大手に「モノ言う社員」続々 BizGate
なぜ50代から筋肉貯金をするべきか? Goodday
魚料理をとことん味わう また来たい店 レストラン
観光の国際化と地方創生を担う人材に 社会人大学院
新人研修 経済知識と自主性を学ぶ スキルアップ
BtoB企業を学生が敬遠するワケは? College Cafe
インフルエンザの「完璧な予防法」 BizGate
4月転職?まずは市場価値のチェック 転職

[PR] 一覧はこちら
人手が足りない・・・
BIZトレンド監修、限られた人材を活かすための業務アウトソーシング活用方法
島地勝彦「大人の嗜み」
ようこそバー・サロン・ド・シマジへ。入り口はこちら / タリスカー

一部のOTC薬品は税控除
意外と知らないセルフメディケーション税制。まずレシートをチェック/株式会社龍角散

インドでは18年12月、政権のバラマキに抵抗して中銀総裁が辞任した。選挙結果次第では、日本や中国、韓国も参加する東アジア地域包括的経済連携（RCEP）の交渉にも影響を及ぼす。

英エコノミストの調査部門による「民主主義指数」（17年）によると、アジアでは総じて民主度が低下している。大衆迎合的な政策の危うさが見え隠れるアジア各国の選挙戦。定着しつつある民主主義の質が問われている。

（鈴木淳、黒沼勇史、小谷洋司）

保存 共有 印刷 送信 ツイット その他

類似している記事（自動検索）

タイ軍政が政治活動解禁 19年総選挙へバラマキで先手



2018/12/11 20:48更新

インド中銀総裁辞任、モディ氏の「ばらまき政策」に抵抗



2018/12/11 6:07

タイの反軍政政党、総選挙に向け視界不良

2018/11/12 18:16

タイ総選挙、反軍政の政党共闘難しく 党首出そろ



2018/11/11 21:16更新

PR 豪奢なお店での粋な「ランチ接待」が増えている？/大人のレストランガイド

関連キーワード

選挙結果

< 電子版トップ

PR OFFICE PASS月間利用上位/新宿は49階からの景観が◎。上質な空間がウリ

PR 【年収、残業時間など】企業ランキング公開中/日経キャリアNET

PR 「企業からのお知らせ」掲載企業をこちらでご確認いただけます

PR 【初割】日経MJビューアーが2月末まで無料！申込はこちら

PR クラウドファンディング発のECはギフトに最適！/未来ショッピング公式ストア

PR 家を売りました！仲介手数料49.8万円でお得に売却！/マンションマーケット

PR 行けなかったあのセミナー「動画」で視聴できるんだ！/イノベーション

PR 経済学者 伊藤元重 「学問は社会を変える力になり得る」/日産

[PR]トレンドウォッチ

一覧>



統合型リゾートフォーラム

日本版統合型リゾートが担う成長戦略



Advertisement for PICTET seminar: 先行きが不透明な今、注目したい資産運用がここに。ピクテ新春 グロイン・セミナー 全都道府県47会場開催

アクセスランキング

一覧>

- 1. 米中貿易、追加関税で急減速
2. キム世銀総裁が辞任 2期目途中、米政権と確執か
3. 貿易戦争「さらに悪影響」日中韓経営者の7割超
4. (新幸福論 Tech2050) (7) 考える葦 未来の原点
5. 景気持続、ちらつく不安 企業トップが新年祝賀会
6. (春秋) 夏目漱石は親友、正岡子規に感化され句作に励み、生涯およそ2600...
7. 日産、ルノーの臨時総会開催要求を再び拒否
8. ゴーン元会長、自ら出廷し無罪主張へ
9. 相場乱高下でも恐怖指数は低下 短期筋の強気転換映す
10. (迫真) 迫る代替わり (2) 一世一度の儀式「我々はプロ」

1/8 6:00 更新

日経BP社

日経トレンディネット 「泊まれる本屋」高稼働率の秘密

日経DUAL 今年から「家族の定例会議」始めてみませんか？

日経ビジネス ONLINE

企業研究 「雪なし」でも楽しいスキー場

Editors Eye QRコード決済騒動に潜む地殻変動

NIKKEI STYLE

マネー研究所 ほったらかして貯まるお金習慣事始め 年払いなど活用

出世ナビ それでも転職面接は「最初5秒の印象が10割」のワケ